



第2回 赤塚の森フォーラム 開催のご案内

交流・ネットワーキング, 互いに学び合うことを目指すフォーラムの第2回目は, リベラルアーツ分野として, ワグナー研究者である慶応義塾大学商学部准教授 北川千香子氏を講師にお招きし, 第1部「現地スタッフの体験から見るバイロイト事情 (仮題)」、第2部「ワグナー作品におけるジェンダー」と題して講演いただきます。今回は会場とオンラインのハイブリッド開催となります。

皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

- 講師：慶応義塾大学商学部准教授 北川千香子氏
- 主催：赤塚の森フォーラム企画委員会
共催：NPO 法人 ヒューマンウェア・ネットワーク推進機構, (株)フルハシ環境総合研究所, (一社)日本福祉協議機構, 深田電機(株)
- 後援：日本ワグナー協会
- 日時：2023年2月20日(月)
- 会場：深田電機(株)本社「赤塚の森」3階多目的ホール
〒461-0026 名古屋市東区赤塚町 28 番地
- 定員：会場参加 30名 オンライン参加 50名
- 参加費：無料 交流会参加費：2,000円程度

17:00-17:50

第1部 現地スタッフの体験から見るバイロイト事情 (仮題)

18:00-19:15

第2部 ワグナー作品におけるジェンダー

終了後 (19:30頃から), 近隣のレストランあるいはケータリングで交流会を開催します。

講師略歴：北川千香子氏 慶應義塾大学商学部准教授

広島大学, ドイツ・チュービンゲン大学, オーストリア・ウィーン大学でドイツ文学と演劇学を専攻。2009年から2013年まで, ドイツ学術振興会 (DAAD) の給付留学生としてベルリン自由大学にて演劇学を専攻, 同大学で Ph.D.取得 (演劇学)。留学中に, アムステルダム歌劇場やライプツィヒ歌劇場にてドラマトウルクや演出助手の研鑽を積む。2005年から2015年まで, 10シーズンにわたり現地スタッフとしてバイロイト音楽祭に携わる。研究の専門領域は演劇学、演出美学、特にワグナー以降のオペラ/音楽劇研究。主な著書に、「Versuch über Kundry – Facetten einer Figur」(単著, Peter Lang, 2015年), 主な訳書に、マルティン・ゲック著『ワグナー』(共訳, 岩波書店, 2013/2014年) などがある。



申込先 (問合せ先)：小竹：n.odake.411@nitech.jp

第1部 現地スタッフの体験から見るバイロイト事情	参加	不参加
第2部 ワグナー作品におけるジェンダー	参加	不参加
交流会	参加	不参加

会場略図

深田電機(株)本社「赤塚の森」3F 多目的ホール

名古屋市東区赤塚町28番地

電話(052)931-8111



公共交通機関

「基幹バス」2系統 光ヶ丘、四軒家 行き
(市役所、栄、名古屋駅から乗車できます)

赤塚白壁バス停 目の前

「名鉄」森下駅徒歩8分

「地下鉄」桜通線 高岳駅②番出口徒歩15分

公共交通機関でご来場ください。

※駐車場はありませんので、お車でお越しの場合は、
近隣の有料駐車場をご利用ください。

(西側道路を南方面へ)

深田電機本社社屋 FKD

